

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38441	
事業名	札幌芸術の森魅力向上費						
評価担当課	所属名	市)文化部 文化振興課					
	課長名	木戸 拓史	担当者名	平 将士、菅原 真	電話番号	011-211-2261	
施策名	主	魅力あるまちづくりと観光振興の一体的推進					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	案内サインの多言語化等により外国人観光客の受け入れ環境の充実を図り、野外美術館への年間来場者数60,000人を目指す。				
		長期	芸術の森全体の魅力向上に向けた調査・検討を実施するとともに、芸術の森野外美術館の彫刻作品の修繕等を行い、芸術の森の魅力の維持・向上を図る。				
	取組内容	芸術の森全体の魅力向上に向けた調査・検討を実施するとともに、経年劣化が認められた芸術の森野外美術館の美術作品について計画的な補修を行うことで環境を整備し、芸術の森の魅力の維持・向上を図る。 ①札幌芸術の森野外美術館等作品現況調査業務: 野外美術館の設置作品及び野外設置作品82点についての現況調査					
	実施結果	野外美術館の設置作品及び屋外設置作品82点について、経年劣化が認められることから、計画的な補修を進めるための基礎資料を作成することを目的として、札幌芸術の森野外美術館等作品現況調査業務を行った。					
事業実施における工夫点	なし						
対象者	市民、観光客			開始	令和2年度	終了	0年度
関連法令・条例・要綱等	札幌市文化芸術基本条例						
他都市の状況	「箱根彫刻の森美術館(1969(S44)年開館)」、「美ヶ原高原美術館(1981(S56)年開館)」、「霧島アートの森(2000(H12)年開園)」では、子ども連れに配慮した作品を設置。						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	748	5,200	4,075	7,000	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	0.2	0.2	0.2	0.2	
人件費	1,440	1,440	1,440	1,440	
計(事業費+人件費)	2,188	6,640	5,515	8,440	
事業費の内訳	令和3年度決算	札幌芸術の森野外美術館等作品現況調査業務: 4,075千円			
	令和4年度予算	多言語サイン設置業務: 4,000千円 野外彫刻新設置計画策定: 3,000千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	芸術の森魅力向上に向けた計画的な施策の実施(野外美術館整備)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	緊急的な作品補修	現況調査	現況調査	作品補修	
活動指標2	指標名	芸術の森魅力向上に向けた計画的な施策の実施(園全体整備)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
				多言語サイン設置	
成果指標1	指標名	野外美術館への来場者数			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	61,246人	70,000人	22,221人	60,000人	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	野外美術館の設置作品及び屋外設置作品82点について、札幌芸術の森野外美術館等作品現況調査業務を行った。 作品の基礎情報(作品名、材質、寸法など)及び安全点検結果を記載した報告書を作成し、情報をデータベース化した。調査結果に基づき、補修着手の優先度、方針を策定することができるようになった。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	野外美術館の設置作品及び屋外設置作品82点の情報をデータベース化することにより、ぐらつき等危険な状態にある作品情報を整理することができた。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	業務の実施にあたっては、作家の意図や作品設置に係る経緯等を十分把握し、作家等との意思疎通を円滑に行うことが要求されるほか、美観を損ねないために作品に関する知識を十分有していることが重要であることから、札幌芸術の森野外美術館のコンセプトを十分に理解し、多数の芸術作品の補修実績がある業者を検討した上で業務を実施した。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	安全に野外美術館の鑑賞ができる環境整備のため、補修着手の優先度、方針を立てることができるようになった。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input checked="" type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	現況調査の結果を受け、来館者への危険性が高い作品について、計画的な補修を実施していく必要がある。				
前回の評価	○ A ● B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	計画的に業務を実施し、野外美術館の設置作品及び屋外設置作品82点の情報のデータベース化を完了した。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 破損等により来館者への危険性が高い作品について、補修を進める。			
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 危険性が高い作品の早期補修に向けて、適切な予算措置を行う。		見直し効果額	0 千円